

① 制度の概要

サントリーが1989年に設立した公益信託で、**コウノトリ・トキ・ツル等の大型鳥類保護**を通じて水辺生態系の再生を目指します。「今日、鳥たちの身に起きていることは、明日は人間の問題になるかもしれない」という基金理念に基づき、水と人と鳥が共存する持続可能な環境づくりを支援します。

当部門は環境整備や大型設備導入による**継続的活動の突破口**となる助成を重視し、地域拠点を確立した団体や自治体・民間協議会による広域連携活動を対象とします。1990年からの累計実績は517件、助成総額7億円を超える国内最大級の鳥類保護基金です。

🔗 支援内容

☐ 水辺の大型鳥類保護活動

環境整備・大型設備等による保護活動支援

最大1,000万円

助成率：全額助成

🎯 対象となる取組

【保護・生息環境整備】

- ☐ コウノトリ・トキ・ツル等の保護活動
- ☐ 水田・湿原等生息環境の整備・確立
- ☐ 繁殖支援のための機材・設備導入

【助成対象費目】

- ☐ 資機材購入費、工事費
- ☐ 借損料・役務費、人件費
- ☐ 旅費、諸経費（一般管理費等）

※日常活動備品は対象外となります。

👥 対象者

- ☐ **地域拠点確立団体**：地元自治体・他団体と連携済
- ☐ 水田・湿原整備を行う鳥類保護団体
- ☐ 地方公共団体中心の民間協議会

⚠ 補足事項

- ☐ 連続申請可能だが毎年審査が必要（複数年保証なし）
- ☐ 助成期間は原則1年（4月～翌年3月）

💡 採択率向上のポイント

- ☐ **地域連携の強化**：自治体・他団体との協力体制構築
- ☐ **継続性の重視**：**突破口となる**長期保全計画の策定
- ☐ **専門性の証明**：鳥類保護の専門知識と実績
- ☐ **地域拠点確立**：活動エリアでの確固たる基盤

📊 戦略的分析

【長期保全戦略の重要性】

- ☐ **生態系ネットワーク形成**が採択の鍵
- ☐ 単発活動より**継続的環境整備**を重視
- ☐ 地域コミュニティとの**協働体制**構築

【段階的なステップアップ戦略】

- ☐ **初回申請**で基盤整備に重点
- ☐ 実績蓄積による**連続助成**活用
- ☐ 他地域との**広域連携**展開

📈 助成実績の推移



水辺部門実績（2015-2023年）：年間2～3件の安定助成を継続
平均助成額：約1,950万円（2,000万円枠内で運用）

💡 活動事例と分野

活動分野	代表的な取組例
トキ保護	天王川流域での水辺づくり・自然再生
コウノトリ保護	定着・広域ネットワーク推進事業
ツル類保護	越冬地分散プロジェクト・環境整備
クロツラヘラサギ	リハビリ施設設置・繁殖地創出
生息地整備	水田・湿原・ビオトープ環境保全

👤 専門家活用のススメ

- ☐ **鳥類生態学者**：科学的根拠に基づく保護計画策定
- ☐ **環境コンサル**：生息環境整備の技術指導
- ☐ **地域連携専門家**：自治体・団体間調整支援
- ☐ **事業計画専門家**：継続性を重視した申請書作成

📁 必要書類とチェックポイント

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/8/27作成】

提出書類	チェックポイント
助成申請書	☐ 継続的活動 の突破口性を明記 ☐ 地域拠点確立の 具体的根拠 ☐ 費目分類の 正確な記載
活動計画書	☐ 対象鳥類の生息状況調査結果 ☐ 環境整備の技術的妥当性
連携証明書類	☐ 自治体・他団体との協力体制 ☐ 地域拠点としての活動実績
予算書・見積書	☐ 費目分類の適切な振り分け ☐ 大型設備導入の必要性根拠

📅 申請スケジュール

- 事前準備期間**
書類準備に3～6ヶ月程度。地域連携体制の構築が重要。専門家との事前調整と環境調査の実施が必要。
- 公募期間**
2025年9月1日（月）～9月30日（火）
郵送による書面申請。
※電子申請システムは使用しません。
- 審査期間**
10月中旬～12月頃（予定）
- 採択結果通知**
2025年12月頃（すべての申請者に対して通知）
- 交付決定**
2026年4月～事業開始。
事業完了・実績報告は2027年6月末までに必須

❓ 問い合わせ

制度詳細	http://www.koueki-suntory-aityou.jp/bosyuu/index.html
お問い合わせ	〒105-8574 東京都港区芝3-33-1 三井住友信託銀行 個人資産受託業務部 公益信託チーム サントリー世界愛鳥基金 TEL：03-5232-8910（受付：平日9時～17時） FAX：03-5232-8919